

地域のために 地域とともに

# RAKUWA

らくわ

Vol.147  
2024年2月号



特集

## 会報誌らくわ40周年

### ～会報誌 RAKUWAとともに振り返る洛和会～

# 40th

ANNIVERSARY



LINE  
公式アカウント



当会公式  
Instagram



当会公式チャンネル  
YouTube



洛和会ヘルスケアシステムは  
持続可能な開発目標(SDGs)  
を支援しています。

当会公式キャラクター  
らくの助



# 40th ANNIVERSARY

## 会報誌らくわ40周年

らくわ

RAKUWAの第一号から継承されている題字「らくわ」の文字は、当時の洛和会常務理事であり、現理事長 矢野裕典の祖母にあたる矢野満子の書です。

RAKUWAでは、今でも奥付に「らくわ」の題字を残しています。この継承され続けている題字とともに会報誌は新たな挑戦をし続けてまいりました。洛和会ヘルスケアシステムの「継承」と「挑戦」の両輪こそが、これからの「洛和会」を形づくっていくものと気付かされます。

## 原点回帰

「会報誌らくわ」発刊40周年にあたり、これまでのコラムを読み返していました。第一号の洛和会ヘルスケアシステム 会長 矢野一郎のコラムが、まさに今日にも指針とすべき、広報活動の原点となっています。PRのツールが、現在はSNSやYouTubeになっているだけで、考え方は一緒です。

当会が使用してきた「四つ葉のクローバー」。これから新しく大きなことを成すにあたり、新たな「旗印」としてバージョンアップさせたいと考えています。

また、「らくわ」という題字は、初代理事長の夫人 満子氏の書です。私をかわいがってくれた祖母の想いを、これからも守っていきます。

40周年にあたり、その第一号の矢野一郎による当時のコラムを本誌12ページに再掲します。あらためて病院の定義を見つめなおし、原点に立ち戻って患者さんファーストな病院として進んでいきます。

洛和会ヘルスケアシステム  
理事長

や の ゆう すけ  
矢野 裕典



# History of RAKUWA

## ～会報誌RAKUWAとともに振り返る洛和会～

1983年に創刊し、洛和会ヘルスケアシステムとともに歩みを進めてきた会報誌「RAKUWA」。これまで40年に渡って地域の皆さんに情報発信を行ってまいりました。その歴史を振り返り、40年の歳月を、これまでの歴史と当会の取り組みの紹介と、当会の地域における役割や当時の思いを通して振り返ります。

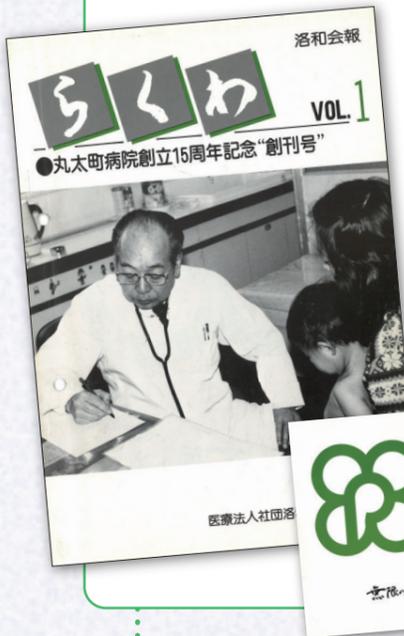
1983年1月発行 vol.1

1983(昭和58)年3月

### 創刊

会報誌の第一号は、洛和会丸太町病院の創立15周年を記念した創刊号として始めました。巻頭には、当会の徽章の意味である「無限の感謝」が記されています。

本誌では「写真でつづる丸太町病院15年の歩み」が紹介され、歴史を感じる一冊に。



1990年10月発行 vol.21

### 洛和会10周年 洛和会音羽病院40周年

洛和会が創立40周年・洛和会音羽病院が開設10周年を迎えたこの年、記念式典謝恩パーティーを開催。1000人以上が参加したこのパーティーでは、終始和やかな談笑に湧くなか、理事長や院長を始めとする幹部職員らが参加者一人一人に感謝の言葉を伝えました。洛和会が次に目指す「21世紀医療“ヘルスケアシステム”」への第一歩となる記念すべき日となりました。



1993年3月発行 vol.26

### コーポレートスローガンが「RAKUWA HARMONY Wa」に更新されました

誌面サイズもB5からA4になり、文字や写真が見やすくなりました。



1998年8月発行 vol.41

当初の介護施設!

### サウスヴィラ桃山 開設

4月に開設したサウスヴィラ桃山(現在の洛和ヴィラ桃山)。当時、初めての試みである「障子と襖による全室個室化」を取り入れたことや、施設にかける施設長の思いを紹介しました。



1983年

1984年

1986年

1989年～1990年

1991年

1993年

1995年

1997年

1998年

1984年11月発行 vol.4

### 当初のコーポレートスローガン「メディカル・ルネッサンス」について言及

「病院の開設などの「外面的発展」のみならず、組織をつくるのは「人＝職員」であり、その「内的発展(＝職員自身の変革)」があってこそ、真の意味で洛和会が最大規模に発展するのである」というメッセージを発信しました。



1991年2月発行 vol.22

### 第1回洛和会ヘルスケア学会 開催

洛和会40周年、洛和会音羽病院10周年を記念した行事として、各関連施設、各部署の日頃の研さんの成果を発表する場としてスタートしました。



1995年6月発行 vol.32

### 阪神・淡路大震災

1月23～30日の期間、阪神・淡路大震災※による被災者救済活動のため、救護班を派遣しました。震災発生直後から当時の理事長であった矢野一郎(現・会長)の、「医療従事者として少しでも協力したい」という強い思いと「休暇をとってボランティアに参加したい」という職員の声に応える形で表現しました。

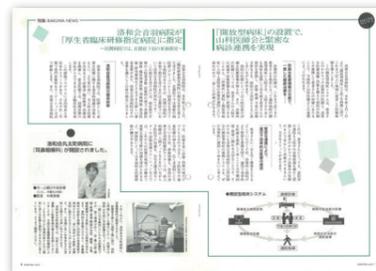


1995(平成7) 6月10日発行 vol.32▲

1997年4月発行 vol.37

### 洛和会音羽病院が厚生労働省臨床研修指定病院に

洛和会音羽病院は4月1日から、「開放型病床」(5床)を病棟に設け、これまで以上に地域に密着した医療体制を整えました。



当時のリアルな状況が写真とともに掲載されています。

※阪神・淡路大震災 1995(平成7)年1月17日午前5時46分頃、淡路島北部を震源地とする地震が発生。東北地方から九州地方まで広い範囲で揺れを観測し、国内で史上初めてとなる震度7を観測した。死者・行方不明者は6,400人を超え、全半壊など被害を受けた住宅は約63万棟にのぼる。

1986年5月発行 vol.9

### vol.9から表紙がフルカラーに

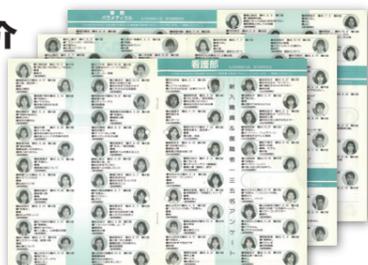
表紙の裏面がフルカラーへと変化し、色鮮やかになりました。



1989年5月発行 vol.17/1990年6月発行 vol.20

### 新入職員紹介

新入職員や復職者を一人一人写真とともに紹介していました。



2001年4月発行 vol.50

### 洛和会ヘルスケアシステム 50周年

この年、洛和会ヘルスケアシステムは誕生から50周年を迎えました。当時の理事長、矢野一郎は創設者である矢野宏の遺志を受け継ぎ、医療機器や医療技術が進歩・発展する中であっても、その進歩に頼った医学に固執することなく、医療スタッフの人間性を最大限に生かしながら良質な医療を提供してきました。そして「これからの50年においても洛和会は、医師、看護婦(士)、すべての医療従事者が真心のこもった医療と介護を行っているはず」と語った意思は今も受け継がれています。



2001年7月発行 vol.51

### 電子カルテ 導入へ向けた プロジェクトを紹介

洛和会音羽病院では電子カルテ導入へ向けたプロジェクトを発足。プロジェクトリーダーが電子カルテの特色などについて紹介しました。



2008年新年号 vol.77

### 中面もフルカラーに

写真やイラストがカラーになり、今の誌面に近い印象になりました。



2008年春号 vol.78

### 洛和会音羽記念病院、洛和ヴィラアエル開設

4月1日に当会の新たな試みとして新病院である洛和会音羽記念病院と介護老人保健施設 洛和ヴィラアエルを開設しました。当時は人工透析を目的とした病床と緩和ケアの機能を有する新病院として、その役割を伝えています。



2011年夏号 vol.91

### 地域のがん診療の拠点として、洛和会音羽病院新棟を開設

およそ2年の歳月をかけて新棟を開設しました。同時に放射線治療、PET-CT検診をスタートさせ、診療の幅の拡大と質の向上を実現しました。がんの早期発見から治療までを行う地域のがん診療の拠点としての役割はこの頃から始まりました。



2014年新年号 vol.101

### 洛和会丸太町病院が 新築移転

1967(昭和42)年に開院した洛和会丸太町病院が、2014年1月に新築移転。小規模病院でありながらMRI、CTなど高機能機種を選定。救急外来や内視鏡室が充実し、手術室・カテーテル室は2倍に拡充。病棟詰所はチーム医療を意識して開かれた設計にし、病室を拡大し、ゆとりのある空間を提供。より一層高度な医療を提供できる体制を整えつつ、デザイン性を取り入れた建築で患者さんのアメニティ向上にも配慮した病院となりました。広報誌では院長、看護部長、管理部長が対談し、その思いをお届けしました。



**当時を振り返って**

夢がなかった新病院、移転日当日に二宮院長の号令の下、救急搬入の受け入れを即日開始しました。職員は何事にも一生懸命で元気ないい集団でした。移転後は業績がうなぎ昇り、全国で13位の経営ランキングの評価もいただきました。皆さんと熱い時間を過ごしました。

洛和会ヘルスケアシステム 本部医療部門 部長 **廣瀬 良太**  
(当時洛和会丸太町病院 経営管理部 次長)



2001年 2002年 2005年 2008年 2010年 2011年 2012年 2014年

2002年4月発行 vol.54

### コーポレートスローガンを「Dreams&Love 洛和会」に更新

「自分の親や子どもを、自信を持って預けられる病院に!」という思いを込めて制定されました。



### 洛和会丸太町病院と 洛和会音羽病院が 急性期特定病院に認定

国の厳しい基準をクリアし、2月に洛和会丸太町病院が全国で11番目に、洛和会音羽病院が12番目に認定されました。これは地域に信頼される高度な急性期病院であることの証ともいえます。



2005年春号 vol.66

### 新コーポレートスローガンは「子どもたちのために、未来へ…」

子どもは次代を担う社会の宝。その子どもたちのために「今、私たちがやるべきこと」を真剣に考え、全力で“子どもたちの健やかな成育”に取り組んでいくことを表明しました。



2010年春号 vol.86

### 当会初の東京施設 「洛和ヴィラ南麻布」オープン!

3月25日東京都港区南麻布に、洛和会ヘルスケアシステムの新しい複合型施設「ありすの杜 洛和ヴィラ南麻布」がオープンしました。京都で培ったユニットケアを東京でさらに発展させ、地域コミュニティの拠点として従来の高齢者福祉施設にはない環境づくりに取り組みました。



2011年春号 vol.90

### 東日本大震災の被災地へ 大規模災害用救急車を出動

阪神・淡路大震災を教訓に2009年に導入された大規模災害救助用救急車で、医療物資が不足する福島県会津若松市にある竹田総合病院へ。また、京都府医師会対策本部から要請を受けた洛和会丸太町病院の医師が福島県いわき市・会津若松市の避難所や救護所へ赴き、医療活動に従事しました。



※東日本大震災

2011(平成23)年3月11日午後2時46分頃、三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で、深さ約24kmを震源とするマグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の巨大地震が発生。巨大津波が東日本の太平洋沿岸を襲った。各地の避難所に避難した人は最大47万人にのぼった。この震災の犠牲者は、死者15,000人を超え、今なお行方不明者は2,500人以上となっている。

トップメッセージでは、東京事業所で働く職員の奮闘が伝えられています。



2014年春号 vol.102

### 新コーポレートスローガン「発展、ともに前へ…」を発表

現状に満足することなく、当会が常に、「数」でも、「質」でも「発展」し続けることを願い、策定されました。



2012年春号 vol.94

### 洛和会音羽病院が 救命救急センターに指定

行政から救急医療の業績を評価され、近畿の民間病院で初めて救命救急センターに指定されました。

2014年秋号 vol.104~2015年春号 vol.106

### 洛和会音羽リハビリテーション病院 開設シリーズ3号連載

2015年4月1日に開設した洛和会音羽リハビリテーション病院は、洛和会みささぎ病院で行ってきた難病患者さんのサポートやレスパイト入院にも対応し、物忘れ外来や神経内科診療とともに、新たに整形外科の診療を開始。リハビリ専門職を80人以上配置するなど、充実したリハビリを提供できる環境を整備しました。誌面では院長と看護部長、管理部長の3人が、新病院に対する思いを語りました。



2019年夏号 vol.123

### コーポレートスローガンを刷新 「夢、そして誇り。この街で…」

記念すべき70周年を迎え、2019年7月、コーポレートスローガンを「夢、そして誇り。この街で…」に刷新し、洛和会ヘルスケアシステムの理念に「保育」が追加されました。職員一人一人がその胸に灯った夢に向かって、努力を重ねる日々。その積み重ねに「誇り」を持って進んでほしいという思いを込めて発表されました。

地域とともに



2022年4月号 vol.134

### 洛和会ヘルスケアシステムが 新しいステージへ

4月1日、矢野一郎が会長に、矢野裕典が理事長に就任し、社会問題の解決に挑戦し続ける組織づくりに向けて、決意を表明しました。



会報誌らくわも、余白を生かしたシンプルなデザインに更新

2023年4月号 vol.141

### 愛生会山科病院と 洛和会音羽病院の院長対談

「顔の見える関係が地域医療を守る」をテーマに対談を実施。

「チーム山科」としてさらなる連携強化を誓い、絆を深める一助となりました。



2014年~2015年

2016年

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2016年春号 vol.110

### 洛和会東寺南病院を 開設

NTT西日本京都病院から事業継承し、人工透析や健診を中心に地域医療を支える、当会で5つ目となる病院として2月1日に開設しました。



### 当時を振り返って

2016年2月、いわゆる企業立から医療法人へ事業継承することになりました。一般企業でもあるように、これまでの文化や習慣の違いは、スタッフにとって不安や戸惑いがあったと思いますが、医療人としての根幹は同じであり、誠心誠意患者さんに向き合いスタッフが一つになることで、新しい東寺南病院を築いてこられたと思っています。



洛和会東寺南病院 経営管理部 部長  
こ 小寺 かつ 勝明

2016年夏号 vol.111

### 熊本大地震の被災地へ 洛和会音羽病院 日本DMAT隊が出動

4月14日に発生した熊本大地震の被災地へ、厚生労働省の要請を受け、京都府災害拠点病院である洛和会音羽病院の日本DMAT隊が出動し、支援活動を行いました。



2020年夏号 vol.127

### コロナ禍の 過ごし方を紹介

新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、感染予防対策やコロナ禍でも健康に過ごすコツなどを一般の方に分かりやすく紹介。



2020年秋号 vol.128

### 地域の皆さんからのご支援に感謝!

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、感染症と闘う当会職員へ、各方面から温かいお言葉や支援の品物を多数お贈りいただきました。皆さま、ご支援ありがとうございました。



2021年夏号 vol.131~

本文が横書きになり、左綴じ仕様にリニューアル!



2022年8月号 vol.136

### 当会初! 介護医療院 開設

7月1日京都市伏見区に、当会初の介護医療院「洛和ヴィラよつば」をはじめ、6つの介護事業所を同時開設しました。



# 名物コーナー

洛和会ヘルスケアシステムの理事長によるコラムや地域のクリニックのご紹介、  
当会の医師、看護師、地域連携窓口の職員紹介など、さまざまな名物企画が誕生しました。  
なかには、今でも続いているコーナーも。

## TOP MESSAGE

## トップメッセージ

丸太町病院創立15周年を記念して創刊された「らくわ」。1号からトップメッセージとして、洛和会ヘルスケアシステム 理事長 矢野一郎（現会長）そして、矢野裕典（現理事長）がコラムを執筆。矢野一郎のコラムは書籍化されており、その時代に話題になったもの・ことに医療・介護の話を含めた内容など、毎号楽しみにしているファンも。



2021年10月に矢野一郎の  
コラムを集めた書籍が  
発行されました。  
「夢、そして誇り。  
この街で…」



## DOCTOR'S HOLIDAY

## 本日休診

2002年～2021年

### 音楽、人生、そしてデッドライン

音楽、人生、そしてデッドライン... 矢野一郎の音楽と人生の軌跡を辿る。...

### 本日休診

本日休診... テニスの筋肉は... 矢野裕典のテニスと健康の話を語る。...

### 本日休診

本日休診... スタジアムに足を運ぶ... 矢野裕典のスタジアムとスポーツの話を語る。...

洛和会ヘルスケアシステム 5病院に所属する医師の休日をクローズアップした企画。医師の普段とは違う一面を垣間見ることができ、親近感を持ってもらえることを意識していました。

## PRIMARY CARE

## まちのお医者さん

当会の病院と連携している地域の医療機関を紹介。院長の思いや、特長、力を入れていることなどを広報部員が取材し、記事を作成。診療で忙しい合間を縫って取材にご協力いただいています。



開業医の先生方と当院を結ぶ情報誌として、「会報らくわ」や「地域連携ニュース」を発行しています。当院からの最新情報を発信することで、開業医の先生方の診療の一助になればと考えております。また、Face to Face コーナーは、普段電話対応している職員との顔の見える関係づくりに役立てられ、スムーズな連携にもつながっています。引き続き、ご愛読賜りますようお願いいたします。

洛和会羽羽病院 医療介護サービスセンター 地域連携課 課長 平島 正基

2002年～2021年

## VISITING NURSE'S NOTES

## 訪問看護ノート

当会の訪問看護ステーションの利用者さんとのほっこりするエピソードを、現場で働く看護師が執筆。利用者さんとそのご家族の思い、看護師がどんな思いを持って利用者さんに関わっているかなど、読むと心が温くなる記事でした。そんなエピソードを集めた「訪問看護の泣き笑い」も出版しています。



2012年11月に発行した書籍 ▲  
「訪問看護の泣き笑い～あなたのお宅へ今日もゆく～」

### 訪問看護 ノート

訪問看護 ノート... 自宅で死ぬということ... 訪問看護士 山本 孝子 のエピソードを語る。...

### 訪問看護 ノート

訪問看護 ノート... 訪問看護士 山本 孝子 のエピソードを語る。...

### 訪問看護 ノート

訪問看護 ノート... 訪問看護士 山本 孝子 のエピソードを語る。...

## Face to Face

## STAFF INTRODUCTION

患者さんにスムーズに治療やリハビリを受けていただき、かかりつけ医には、治療後の経過観察をしていただくために、病院と地域の医療機関をつなぐ、重要な役割を果たしている地域連携課。そこに所属する職員を1～2人紹介しています。電話でのやりとりが多い中、顔の見える関係をつくる一助となっています。

### FACE to FACE 紹介・逆紹介の窓口として

FACE to FACE 紹介・逆紹介の窓口として... 地域連携課の職員紹介。...

### Face to Face

Face to Face... 洛和会丸太町病院 医師介護サービスセンター 地域連携課 課長 北村 明宏 の紹介。...



# —— 巻頭言にかえて ——



洛和会ヘルスケアシステム  
理事長(現会長) 矢野 一郎

医療法人社団洛和会の会報「らくわ」の第1号が発刊されるに際し、巻頭言にかえて、本年度の洛和会の方針を述べさせていただきます。

洛和会の方針を義務づける前に、いまさら言をまたないことかもしれませんが、医療の基本的なことを振り返ってみたいと思います。

医療法第一条の中では病院を見事に意義づけ、次のように述べています「病院とは医師又は歯科医師が、公衆又は特定多数人のため医業又は歯科医業を行う場所であって、二十人以上の患者を入院させるための施設を有するものをいう。病院は傷病者が、科学的でかつ適正な診療を受けることができる便宜を与えることを主たる目的として組織され、かつ、運営されるものでなければならない。」ここには、科学的で適正な診療のため組織された運営体が病院であるとする理念が明解に記されています。この理念は洛和会の定款にも明文化されているほど、医療においても最も基本的なものだと考えています。

私どもにおいても常に前向きに発展していく本旨は医療法第一条にあるように「公衆又は特定多数人のため医療を行う」ためであって、患者さんのために発展していくことを肝に銘じて行きたいと考えています。

しかし社会環境が大きく変革していくにしたがって、従来は狭い意味での病める人々を対象としていた病院が、今日予防医学的な活動やリハビリテーションを含む健康のためのセンター的機能として発展し、ますますその対象範囲が広がっていくことが十分予想されます。ただ今後どのような姿で医療の範囲が広がろうとも、機能的には大きく次の4つに分類できると考えます。

- (1) 診療と看護(基本的なもの)
- (2) 院内での教育(毎日の臨床教育)
- (3) 公衆衛生的な活動(成人病予防、検診、リハビリ)
- (4) 医学の研究開発(将来的なもの)

以上の4分類は基本的なことと洛和会の各病院内でも実行していることです。

また、今後近代的な医療と呼ばれるためには大型施設や設備、複雑高価な医療機器も要求されますが、そればかりでなく医療に対する社会的な要求、患者さんの側に立った個人的な要求などの将来を予想して体制、組織も整備しておかなければなりません。

このため私は、洛和会の中核病院ばかりでなく京都市東部地区の中核病院として、高度な技術と設備を有する専門医群の協力診療体制すなわち、総合病院の必要性を如実に感じ、去年洛和会音羽病院の隣接地を取得し、本年4月着工予定で増床と総合病院化を決定いたしました。本来総合病院の体制は主として急性疾患に向けられるべきものですが、洛和会音羽病院の性格上、慢性疾患患

者の受け入れ体制の充実も同時に図りたいと考えています。これは将来を予想して、慢性疾患患者の多数を占める老人専用病床の充実と確保のためであり、慢性疾患患者のために、病床がいっぱいになって動きが取れなくなることを防ぐためでもあります。

また、洛和会の活動を社会的にも患者さんにも、十分理解していただくことも必要です。このため真のPR活動も充実させる必要があります。PR(Public Relations)とは単に広告・宣伝ではありません。本当のPRとは「個人ないし組織体で持続的または長期的な基礎に立って、自身に対して公衆の信頼と理解を勝ち得ようとする活動」であります。洛和会の場合で考えてみますと「洛和会が持続的または長期的視点に立って、自身に対し

- ①地域や地域住民
- ②受診、入院している患者
- ③職員やその家族
- ④製薬会社や医療品問屋
- ⑤保健所や関係官庁
- ⑥取引銀行
- ⑦地区医師会や他の医療機関 等

の信頼と理解を勝ち得ようとする活動」です。

とりもなおさず、本当のPR活動は院外だけではなく、院内のPRも同時に行わなければなりません。ちょうど本の表と裏の関係と同じことです。このため本年度から本当のPR活動の一環として、「PR委員会」を設置することに決めました。PR委員会を中心とするPR活動の一つの媒体として、洛和会報「らくわ」の持つ意義は重要であると考えています。院内外を問わず、洛和会の理解と信頼を得る活動を大いに期待しているわけです。

最後になりましたが、洛和会では新しい大きなことを成す時、伝統的に必ず含蓄ある言葉の「旗印」を持っていました。皆さまのおかげをもって矢野医院、丸太町病院、洛和会音羽病院を擁し、着実に発展してまいりました。

今回洛和会音羽病院の増築、増床が完成したあかつきには、洛和会グループ全体で800床規模の病院群となり、社会的な責任も倍加することになります。しかしどんなに大きな規模となり発展を遂げても、私どもだけの力で成し遂げられたと錯覚してはならないことを皆さまにも、十分ご理解していただけたらと思います。社会的な支援、患者さんの支援、取引先、業者各位の支援があったからこそなのです。

そこで前述のPR活動とも関連があるのですが、今般洛和会の会章たる「徽章」を制定しました。洛和会が伝統的に使用していた「四ツ葉のクローバー」をアレンジしたものと考えていますが、皆さまはどのようにお感じになるでしょう。そしてこの洛和会の徽章に「限らない前進」「感謝の心」を象徴し「無限の感謝」と命名し、末永く院内、院外にアピールしていきたいと思っております。

洛和会報「らくわ」創刊号(1983年3月発行)より

# 洛和会ヘルスケアシステム 「リブランディング大作戦」

「リブランディング大作戦」は、洛和会ヘルスケアシステムの実態を社会に広く認知されるよう、新たなイメージを築き上げ、魅力と訴求力を高めるためのプロジェクトです。第3回ではこのプロジェクトの取り組みの一部をご紹介します。

## 第3回 ラジオ聞いていますか？

10月からKBS京都ラジオで放送が始まった「ココろくわくラジオ」は、医療、介護、健康・保育、教育・研究の各分野で活躍する職員が週替わりで出演し、担当している仕事や洛和会ヘルスケアシステムならではの取り組み、実際にあったエピソードなど、個人の人柄にも触れながら楽しいトークが繰り広げられています。

このラジオ番組は、当会についてもっと知りたいという目的でスタートしました。

「丸太町病院や音羽病院は知っているけど、洛和会ヘルスケアシステムは知らない」「らくの助や緑と青のバスが市内を走っているのは知っているけど、それが洛和会ヘルスケアシステムであるということは知らない」など、点での認知度はあっても、「洛和会ヘルスケアシステム」としての認知度は思っている以上に低いのが実状です。



洛和会ヘルスケアシステム  
本部総務部門  
次長 神田 貴庸

私たちはラジオ放送をはじめとしたさまざまなコミュニケーション計画を通じて、点と点をつなぎ「洛和会ヘルスケアシステム」の正しい認知を広めることが重要だと考えています。これは地域の皆さんに対してだけでなく、職員に対しても同じことがいえます。洛和会ヘルスケアシステムはさまざまな分野のスペシャリストの集合体です。異なる分野で活躍する職員間の理解を深め、当会への愛着心を育ててもらいたいという目的もあります。ぜひ皆さんにラジオを聞いていただきたいですね!



記念すべき第一回目の放送は、洛和会ヘルスケアシステム 総院長 細川豊史が登場

### らくわくわくラジオ!

START!

洛和会ヘルスケアシステムPresents  
**ココろくわくラジオ**  
KBS京都Radioで  
**毎週日曜午前7時~7時30分放送**  
医療・介護・保育・教育のスペシャリストが登場!  
毎週どんなお話しが飛び出すか、お楽しみに

ここでしか聞けない洛和会の〇〇

季節の健康お役立ち情報

地域の無料イベント情報

ラジオ本編は radiko、Apple Podcast、Spotify でもお聞きいただけます。Apple Podcast と Spotify では、「理事長の放送後記」も配信!



まちのお医者さん

これまで数多くの地域のクリニックを紹介してきたこのコーナー。今回は会報誌らくわ40周年を記念して、洛和会ヘルスケアシステムの発祥の地「矢野医院」を紹介します。



矢野医院

院長 沼謙司 先生  
内科 脳神経内科 漢方内科

今回ご紹介

洛和会 発祥の地

医療と介護の連携を充実

受け継がれていく患者さんへの想い

矢野医院は、1950年に洛和会ヘルスケアシステム初代理事長である矢野宏先生が開院し、矢野一郎先生が引き継がれ約70年に渡り地域の皆さんの健康をサポートしてきました。当会が運営しているグループホームへの訪問診療をメインに一般内科、漢方内科、脳神経内科の外来診療を行っています。開業当初から往診に取り組んでおり、現在も初代理事長の「安心して過ごしてほしい」という想いを引き継いでいます。

患者さんの不安を解消させる医療機関に

矢野医院では漢方内科、脳神経内科の外来を設けています。原因が分からない頭痛や肩こり、いらなどろの不定愁訴は漢方内科で、認知症の疑いのある方や不安のある方は、脳神経内科で対応しています。また、当会には多数の介護施設があり、訪問診療で対応できない時は、洛和会丸太町病院、洛和会音羽病院をはじめとする当会5病院でサポートしています。体調に不安がある方は、お気軽にご相談ください。



受付



診療室



開院当時の外観



現在の外観

当院の特徴

- ・介護施設への訪問診療を行っています
- ・脳神経内科の専門医が在籍しています
- ・漢方治療もしています

〒600-8461  
京都市下京区仏光寺通  
油小路東入ル木賊山町165  
TEL 075(341)8116



ホームページ

診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前9:00 ～正午	○	○	○	—	○	○

休診日：木曜、日曜、祝日、年末年始  
(12月30日～1月3日)



[アクセス]

地下鉄烏丸線「四条駅」から徒歩10分(約500m)  
阪急京都線「烏丸駅」から徒歩14分(約800m)  
阪急京都線「大宮駅」から徒歩13分(約700m)



まちのお店紹介

今回ご紹介

和風肉料理 藤むら

京都市下京区

今回ご紹介するのは当会理事長矢野裕典 一押しのお店「和風肉料理 藤むら」さん。上質な近江牛をリーズナブルな価格で提供してくれる、知る人ぞ知る焼肉の名店です！



お店はカウンター4席、テーブル1つ、座敷テーブル2つの全16席



ご主人  
たむら けんじ やすこ  
田村 賢二さん 靖子さん

名店のこだわり

「藤むら」は創業40年。どこか懐かしい雰囲気が漂う店内は創業当時のまま。昔からの常連さんや、評判を聞いたお客さんで店はいつもにぎわっています。

牛肉は、肉の柔らかさ、脂の味、見た目の美しさで評価され、これらを追求していくと行き着く最高点が雌牛。雌牛は脂の融点が低く、口の中でとろけるような味わいが特徴です。藤むらで提供されているお肉は全て上質な近江牛の雌牛のみ。

仕入れは上質な雌牛を見分けられる確かな目を持つご主人が行い、こまめな仕入れや品質管理を徹底することで、一度も冷凍することなく新鮮なままのお肉を提供されています。

「ブランド牛である近江牛の雌肉の仕入れ値はもちろん高額。だけどおいしい肉をできるだけ安くお客さんに楽しんでもらいたい」というご主人の思いから、藤むらのメニューはどれも良心的な価格です。

名物料理は「イチボステーキ」と「焼きしゃぶ」

イチボステーキは表面が炙られており、中はレア。やわらかな赤身肉はかめばかむほど旨味が広がります。焼きしゃぶのつけダレは「和風肉料理」の特徴でもあるポン酢。見ていただけでとろけてしまいそうな霜降り肉を軽く炙ったら大根おろしを巻いてポン酢につけていただきます。脂はしつこくなくそれでいて甘い！どちらも間違いなしの逸品です。

何度でも来たくなるお店

お店を切り盛りしているのは奥さまの靖子さん。注文は靖子さんがおすすめを教えてくださいるので初めて来店する方も安心です。目配り気配りで声を掛けてくれる心遣いに「このお店にまた帰ってきたい」と感じる居心地の良さも藤むらの魅力の一つです。

ご主人こだわりの極上のおいしいお肉、そして靖子さんの気さくで温かい接客。肩ひじ張らずココロもおなかも満たしたい、そんな時にぴったりのお店。人気店のため予約は必須です。



「焼きしゃぶ」の美しいサシにうっとり口いっぱい広がる口福感を楽しんで



キムチもおススメ！



名物の「イチボステーキ」はさっぱりとした特性ダレで召し上がり



Shop information

〒600-8476  
京都市下京区喜吉町161  
TEL 075(341)1489

[営業時間] 17:00～21:30 [定休日] 水曜日  
[アクセス] 阪急電鉄/京都線「大宮駅」から徒歩8分  
京都市営地下鉄/烏丸線「四条駅」から徒歩12分  
※地図は14ページをご参照ください。





# らくの助だよ~!

2022年に誕生した洛和会ヘルスケアシステムの公式キャラクター「らくの助」。皆さんの温かいご支援により、当会内外のイベントに出演するだけでなく、SNSやグッズなどを通じて当会の宣伝隊長として大いに活躍しています。

## らくの助プロフィール

- 年齢：8歳
- 将来の夢：お医者さん
- 性格：好奇心旺盛・家族や仲間を大切に
- 好物：なすび

らくの助  
特設ページ



## らくの助ファミリー

家族の名前の由来やワルの助の紹介マンガはらくの助特設ページを見てね!



### はじめ パパ

- 職業：ケアマネジャー
- 性格：几帳面
- 趣味：料理・ラグビー



### なごみ ママ

- 職業：看護師
- 性格：優しく時に厳しい
- 趣味：SNS



### ゆう 妹 / 優ちゃん

- 年齢：3歳（保育園児）
- 性格：お兄ちゃん大好き・ちょっぴり泣き虫・ラミフ（魚のぬいぐるみ）が手放せない



### 幼なじみ / ワルの助

- 年齢：8歳
- 性格：目立ちがり屋・野菜が嫌い
- 特技：いたずら
- 将来の夢：世界征服



## SNS やってるよ

いろいろなキャラクターとのコラボや〇〇やってみたなど、彼の頑張るかわいい姿を動画で配信しています!



## Twitter

健康に役立つ情報や当会のイベントのお知らせなど、「洛和会の今」をお伝えしています。



## いろんな所で活躍中!

当会の病院、介護施設や保育園はもちろん、地域のイベントにも出演中! 皆さんと触れ合ってたくさんのワクワクをお届けします。

## ECサイト

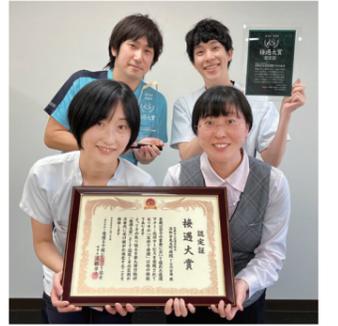
ECサイトではらくの助グッズを販売中。クリアファイルやふせん、お部屋に飾れるぬいぐるみなど、盛りだくさんです。新作も続々登場! 当サイトで得た収益は全て「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか健都」様へ寄付しています。



## NEWS & TOPICS

### 洛和会丸太町病院が「第9回日総研・接客大賞」を受賞

他の模範となるような優れた接客マナー・対応サービスを実践している病院や介護施設などを表彰する「第9回日総研・接客大賞」を、洛和会丸太町病院で業務改善を行うTQM委員会が受賞しました。同委員会で病院全体の接客改善として、職員間のコミュニケーションや連携をスムーズにしたい、もっと笑顔が多い病院にしたいという目標を掲げ、「接客改善基本行動セルフチェックシート」を作成し、全職員にセルフチェックを実施し、その取り組みが評価されました。担当者は、「多職種が協働して取り組み、実践できたことが受賞につながった」と笑顔で話しました。



### 令和6年 能登半島地震における当会の支援

1月1日に発生した能登半島地震に関しまして、被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当会では地震発生時より、内外で情報共有を行い、各所からの要請の受け入れや支援活動を行っています。まず、1月4日には京都府からの要請に応じ、洛和会音羽病院 救命救急センター・京都ERから災害派遣医療チームDMATが出勤し、約70時間にわたる医療支援活動を実施しました。その後、当会全施設に備蓄されている災害時食品と新たに用意した水や非常食を合わせ、約17,000食分の食料と約900リットルの飲料水を石川県七尾市にある恵寿総合病院に輸送しました。当会は今後も継続して被災地の復興支援に尽力してまいります。



職員一同の思いと共に積み込みを行いました



災害派遣医療チーム出発の様子

詳細はこちら



### 京都市より 感謝状を授与されました

1月15日、京都市役所(京都市中京区)にて、感謝状贈呈式が行われました。当会の保育部門「子ども未来事業部」では長年にわたり、保育園や児童館などの運営をはじめ、「京都子ども将棋交流大会」の開催や、京都市立総合支援学校への将棋盤の寄付など、子どもの明るい未来を支えるための活動を行ってきました。その功績が評価され、このたび京都市長 門川大作氏から感謝状が贈呈されました。当会理事長 矢野裕典は「今後は子育て支援だけでなく、障がい福祉事業にも力を入れ、住みやすいまちづくりを目指して注力していきたい」と、さらなる地域貢献への意気込みを話しました。



詳細はこちら



## 洛和会へのお客さま

- 11月 11日 社会医療法人 岡本病院(財団) 京都岡本記念病院さま(京都府) 洛和会音羽病院を見学
- 16日 社会医療法人純幸会 関西メディカル病院さま(大阪府) 洛和会音羽病院を見学
- 21日 地方独立行政法人 市立大津市民病院さま(滋賀県) 洛和会音羽病院を見学
- 京都第一赤十字病院さま(京都市東山区) 洛和会音羽病院を見学

- 11月 30日 医療法人社団 明佑会 峯芒医院さま(熊本県) 丸太町リハビリテーションクリニックを見学
- 12月 1日 医療法人野球医学さま(神奈川県) 丸太町リハビリテーションクリニックを見学
- 12日 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院さま(京都市西京区) 洛和会丸太町病院、丸太町リハビリテーションクリニックを見学
- 14日 株式会社 ニックスさま(広島県) 洛和小規模多機能サービス西院、洛和看護小規模多機能サービス壬生を見学

# 洛和会ヘルスケアシステム

お手持ちのスマートフォンで右のコードを読み込むと、各施設のマップを見ることができます。



<b>本部</b> 洛和会ヘルスケアシステム 本部 〒607-8064 京都市山科区音羽八ノ坪51-4 ☎ 075(581)1763(代)	<b>医療法人</b> 医療法人社団 洛和会 〒604-8405 京都市中京区西ノ京車坂町9	<b>社会福祉法人</b> 社会福祉法人 洛和福祉会 〒612-8006 京都市伏見区桃山町大島38-528	<b>学校法人</b> 学校法人 洛和学園 〒607-8064 京都市山科区音羽八ノ坪53-1
---	---	---	--

**医療** 5つの病院と5つの提携クリニックで、救命救急、急性期、慢性期、在宅、そして予防まで幅広く対応しています。

## > 病院

<b>地域に根差した急性期病院</b> 洛和会丸太町病院 〒604-8401 京都市中京区七本松通丸太町上ル ☎ 075(801)0351(代) 予約 ☎ 0120(489)244 医療関係者向け ☎ 075(801)0372(地域連携課)	<b>高度なシャント手術と透析治療を中心とする腎疾患総合病院</b> 洛和会音羽記念病院 〒607-8116 京都市山科区小山西鎮守町29-1 ☎ 075(594)8010(代) ◦ 医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出してください。	<b>透析機能を強化し地域の医療を支える病院</b> 洛和会東寺南病院 〒601-8441 京都市南区西九条南田町1 ☎ 075(672)7500(代) ◦ 医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出してください。
<b>急性期医療とがん治療を中心とした総合病院</b> 洛和会音羽病院 〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 ☎ 075(593)4111(代) 予約 ☎ 0120(489)300 医療関係者向け ☎ 0120(607)489(地域連携課)	<b>地域包括ケアを支えるリハビリテーション病院</b> 洛和会音羽リハビリテーション病院 〒607-8113 京都市山科区小山西北溝町32-1 ☎ 075(581)6221(代) ◦ 医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出してください。	

## > クリニック

<b>矢野医院</b> ☎ 075(341)8116	<b>丸太町リハビリテーションクリニック</b> ☎ 075(802)9029	<b>淀みづクリニック</b> ☎ 075(632)6116(代)
<b>二条駅前クリニック</b> ☎ 075(803)1236	<b>西洞院仏光寺クリニック</b> ☎ 075(342)3746	<b>洛和メディカルスポーツ京都丸太町</b> (医療法第42条施設) ☎ 075(802)9030

## 介護 在宅から施設サービスまで、当会の医療や保育事業とも連携した質の高いサービスを展開しています。

**介護事業部**  
☎ 075(353)5802(代)

## > 在宅サービス 利用者さんが暮らし慣れた地域で、自立した質の高い生活を送れるよう支援します。

洛和会医療介護サービスセンター丸太町病院 ☎ 075(801)0351(代)	高齢サポート・朱雀 京都市朱雀地域包括支援センター ☎ 075(801)1384	洛和会訪問看護ステーション東大路 ☎ 075(708)1010	洛和ヘルパーステーション坂本 ☎ 077(577)1127
洛和会医療介護サービスセンター音羽病院 ☎ 075(593)0730	高齢サポート・音羽 京都市音羽地域包括支援センター ☎ 075(595)8139	洛和会訪問看護ステーション四條鉾町 ☎ 075(353)8878	洛和会丸太町病院 訪問リハビリテーション ☎ 075(803)6251
洛和会医療介護サービスセンター音羽記念病院 ☎ 075(594)8010(代)	京都市中京区地域介護予防推進センター (京都市委託事業) ☎ 075(801)0389	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 075(595)9821	洛和会音羽リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション ☎ 075(581)6221(代)
洛和会医療介護サービスセンター音羽リハビリテーション病院 ☎ 075(581)6221(代)	老人介護支援センター洛和ヴィラ桃山 ☎ 075(622)2231	洛和会訪問看護ステーション音羽 ☎ 075(583)2301	洛和ヴィラウラノス 訪問リハビリテーション ☎ 075(633)6010(代)
洛和会医療介護サービスセンター東寺南病院 ☎ 075(672)7500(代)	住宅介護支援事業所修学院 ☎ 075(706)6265	洛和会訪問看護ステーション桃山 ☎ 075(622)3073	洛和デイセンター北野白梅町 ☎ 075(465)1611
洛和会医療介護サービスセンター北野白梅町店 ☎ 075(466)5135	住宅介護支援事業所北花山 ☎ 075(582)0776	洛和会訪問看護ステーション醍醐駅前 ☎ 075(575)5011	洛和デイセンターイリオス ☎ 075(801)0398
洛和会医療介護サービスセンター北大路店 ☎ 075(491)8891	住宅介護支援事業所山科 ☎ 075(583)6346	洛和会訪問看護ステーション天王山 ☎ 075(958)6911	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター丸太町店 ☎ 075(802)9111	住宅介護支援事業所音羽 ☎ 075(584)0004	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 075(935)6088	洛和デイセンター右京山ノ内 ☎ 075(325)5776
洛和会医療介護サービスセンター三条会店 ☎ 075(801)0370	洛和ヴィラ桃山 住宅介護支援事業所 ☎ 075(622)2231	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター右京山ノ内店 ☎ 075(323)5722	住宅介護支援事業所醍醐駅前 ☎ 075(575)3763	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター右京山ノ内 ☎ 075(935)6088
洛和会医療介護サービスセンター右京常盤店 ☎ 075(863)6834	住宅介護支援事業所洛和ヴィラ天王山 ☎ 075(958)6933	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター東大路店 ☎ 075(708)1001	住宅介護支援事業所宇治琵琶 ☎ 0774(28)3343	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター四條鉾町店 ☎ 075(341)7007	住宅介護支援事業所大津 ☎ 077(522)6917	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター西京桂店 ☎ 075(382)3208	住宅介護支援事業所石山寺 ☎ 077(531)1314	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター音羽病院前店 ☎ 075(595)9811	住宅介護支援事業所坂本 ☎ 077(577)1132	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター醍醐駅前店 ☎ 075(575)3763	洛和会訪問看護ステーション北大路 ☎ 075(494)3339	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター淀店 ☎ 075(633)6015	洛和会訪問看護ステーション壬生 ☎ 075(803)1552	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710
洛和会医療介護サービスセンター大津店 ☎ 077(522)6917	洛和会訪問看護ステーション右京山ノ内 ☎ 075(325)5772	洛和会訪問看護ステーション山科 ☎ 077(531)1313	洛和デイセンター西ノ京 ☎ 075(813)5710

## > 地域密着型サービス 住み慣れた地域やご自宅で、心身の状態などに応じた“第2の家”のようなあたたかいサービスを提供します。

洛和グループホーム二条城北 ☎ 075(451)1160	洛和グループホーム桂 ☎ 075(382)3121	洛和グループホーム大山崎 ☎ 075(956)6351	洛和グループホーム瀬田 ☎ 077(544)3190
洛和グループホーム西ノ京 ☎ 075(813)5720	洛和グループホーム久世 ☎ 075(925)0210	洛和グループホーム天王山 ☎ 075(959)7020	洛和看護小規模多機能サービス壬生 ☎ 075(803)1550
洛和グループホーム壬生 ☎ 075(803)1557	洛和グループホーム桂川 ☎ 075(925)1505	洛和グループホーム宇治琵琶 ☎ 0774(28)3340	洛和看護小規模多機能サービス音羽 ☎ 075(595)3295
洛和グループホーム太秦 ☎ 075(873)2114	洛和グループホーム勤修Ⅱ番館 ☎ 075(582)8211	洛和グループホーム京田辺 ☎ 0774(68)1266	洛和小規模多機能サービス花園 ☎ 075(461)0950
洛和グループホーム右京山ノ内 ☎ 075(325)5778	洛和グループホーム山科小山 ☎ 075(595)3288	洛和グループホーム八幡橋本 ☎ 075(971)6282	洛和小規模多機能サービス西院 ☎ 075(325)5885
洛和グループホーム右京常盤 ☎ 075(863)5643	洛和グループホーム山科鏡山 ☎ 075(582)8208	洛和グループホーム大津 ☎ 077(511)4025	洛和小規模多機能サービス山科西野 ☎ 075(594)8500
洛和グループホーム花園 ☎ 075(461)0900	洛和グループホーム山科西野 ☎ 075(594)8522	洛和グループホーム大津若葉台 ☎ 077(534)7840	洛和小規模多機能サービス伏見竹田 ☎ 075(645)5752
洛和グループホーム西院 ☎ 075(325)5815	洛和グループホーム醍醐春日野 ☎ 075(575)2510	洛和グループホーム石山寺 ☎ 077(534)2380	
洛和グループホーム百万遍 ☎ 075(706)6760	洛和グループホーム伏見竹田 ☎ 075(645)5750	洛和グループホーム坂本 ☎ 077(578)5535	
洛和グループホーム四條鉾町 ☎ 075(371)1127	洛和グループホーム醍醐寺 ☎ 075(575)2531	洛和グループホーム守山大門 ☎ 077(583)7872	

## > 施設サービス 日常生活のお世話から介護まで必要に応じた施設で、一人一人に合ったサポートを行います。

洛和ヴィラよつば (介護医療院) ☎ 075(632)6116(代)	洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館 (障害者支援施設) ☎ 075(622)2181(代)	洛和ヴィラ天王山 (特別養護老人ホーム) ☎ 075(959)7007	洛和ヴィラアエル (介護老人保健施設) ☎ 075(594)8020(代)
洛和ヴィラ桃山 (特別養護老人ホーム) ☎ 075(622)2181(代)	洛和ヴィラ大山崎 (特別養護老人ホーム) ☎ 075(958)3855	洛和ヴィライリオス (介護老人保健施設) ☎ 075(801)0377(代)	洛和ヴィラウラノス (介護老人保健施設) ☎ 075(633)6010(代)

## > 高齢者向け住宅 ケアの専門家が在駐し、高齢者の方が安心して生活できる賃貸型住宅サービスです。

洛和ホームライフ北野白梅町 (サービス付き高齢者向け住宅) ☎ 075(465)1601	洛和ホームライフ室町六角 (介護付有料老人ホーム) ☎ 075(222)0511	洛和ホームライフ四ノ宮 (介護付有料老人ホーム) ☎ 075(502)7370	FAN <sup>3</sup> (ファンキュービック) ☎ 0120(052)678
洛和ホームライフ音羽 (サービス付き高齢者向け住宅) ☎ 075(584)0001	洛和ホームライフみささぎ (介護付有料老人ホーム) ☎ 075(582)8522	洛和ホームライフ山科東野 (介護付有料老人ホーム) ☎ 075(582)8811	
洛和ホームライフ御所北 (介護付有料老人ホーム) ☎ 075(411)9550			

## 保育 子どもたちの健やかな成長を導き、保護者が安心して働くことができる環境をサポートしています。

子ども未来事業部 ☎ 075(593)4050	守山市立吉身保育園 分園 (指定管理) ☎ 077(583)3667	京都市深草児童館 (指定管理) ☎ 075(642)3413	洛和若草保育園 [洛和会音羽病院 院内保育室・事業所内保育事業] ☎ 075(593)7759
洛和東桂坂保育園 (認可保育園) ☎ 075(382)1050	洛和みずのさと保育園 (認可保育園) ☎ 077(514)2035	洛和山科小山児童館 (指定管理) ☎ 075(582)2018	洛和会音羽病院 病児保育室 よつば ☎ 0120(428)414
洛和桂小規模保育園 (小規模保育事業) ☎ 075(383)8162	京都市音羽児童館 (指定管理) ☎ 075(582)8818	洛和御所南学童クラブ ☎ 075(257)8147	洛和イリオス保育園 (企業主導型保育事業) ☎ 075(813)1011
洛和桂川小規模保育園 (小規模保育事業) ☎ 075(925)3326	京都市大塚児童館 (指定管理) ☎ 075(595)2452	守山市物部児童クラブ室 (指定管理) ☎ 077(583)9927	
守山市立吉身保育園 (指定管理) ☎ 077(582)4711	京都市花山児童館 (指定管理) ☎ 075(592)0742		

## 健康 充実の医療ネットワークと多様な健診メニューで疾病予防に貢献します。企業出張健診や特定保健指導も行っています。

洛和会京都健診センター [洛和会音羽病院 健診センター]	☎ 075(593)7774	予約 ☎ 0120(050)108
[洛和会東寺南病院 健診センター]	☎ 075(672)7556	

## 教育 関連事業部門

洛和会京都厚生学校 ☎ 075(593)4116(代)	ウエルネット 本社 ☎ 075(582)6187	■介護 高齢者あんしん相談センター大塚 (文京区委託事業) ☎ 03(3941)9678	洛和デイセンターサラサ ☎ 03(6408)8965
洛和会介護教育センター ☎ 075(354)7067	ウエルネット 大津支店 ☎ 077(511)2515	高齢者あんしん相談センター大塚分室 (文京区委託事業) ☎ 03(6304)1093	文京大塚高齢者在宅サービスセンター ☎ 03(3941)6760
	ウエルネット 京都西支店 ☎ 075(959)1822	ウエルネット 丸太町支店 ☎ 075(466)0020	洛和ヴィラ南麻布 (特別養護老人ホーム) ☎ 03(6408)8677
	ウエルネット 丸太町支店 ☎ 075(582)8118	洛和会資材センター ☎ 075(593)4132	洛和ヴィラ文京春日 (特別養護老人ホーム) ☎ 03(5804)6511
	洛和会大塚児童館 (指定管理) ☎ 075(595)2452	洛和会搬送部門【トランスポート】 ・救急患者搬送サービス・介護タクシー ☎ 075(582)8118	文京大塚みどりの郷 (特別養護老人ホーム) ☎ 03(3941)6669
	京都市花山児童館 (指定管理) ☎ 075(592)0742	予約 ☎ 0120(925)119	洛和ヴィラサラサ (介護老人保健施設) ☎ 03(6408)8676
		洛和会情報システム部門 ☎ 077(548)7081	■保育 洛和みどりの保育園 (小規模保育事業) ☎ 03(5395)0777
		洛和会施設管理部門 ☎ 075(593)7768	
		洛和会会計・給与部門 ☎ 075(583)2815	
		洛和会企画広報部門 ☎ 075(594)8488	

## 障がい福祉

障がい者就労支援事業所 らくわ  
☎ 077(510)0112  
株式会社はたらくわし

患者さんの心よりどころに **音羽の森夢殿**

洛和会音羽病院のC棟北側に「音羽の森夢殿」があります。  
堂内には薬師如来像、両界曼荼羅図、薬師三尊図の5点の仏画が安置されています。

後援／京都市、京都市教育委員会

会場版

# らくわ健康教室

参加無料  
(申込制)

定員 50人

テーマ

## 狭心症の新しい検査法と治療法

～自分の命を救うため、大切な人を突然死でなくさないために！～

日時

2024年2月21日(水) 午後2時～3時(受付 午後1時30分～)

講師

洛和会音羽病院  
副院長 心臓内科 部長  
内科専門研修プログラム  
統括責任者 兼務  
よこい ひろかず  
横井 宏和



会場

アスニー山科  
(ラクト山科C棟2階)

申込方法

下記QRコードから  
お申し込みください。



※申し込み後、当日はそのまま  
会場へお越しください。

お問い合わせ

らくわ健康教室事務局 (洛和会企画広報部門) TEL 075(594)8488

## News

### Wi-Fiが利用可能になりました

洛和会丸太町病院、洛和会音羽病院、洛和会音羽記念病院、洛和会音羽リハビリテーション病院では、入院生活をより快適に過ごしていただくため、また、外来患者さんの診察の待ち時間にご利用いただけるよう24時間無料の無線LAN(Wi-Fi)接続サービスを提供しております。

接続方法、接続に必要なSSID、パスワードにつきましては、院内各所に掲示しております案内をご確認ください。

### 注意事項

(詳細は各病院の利用規約をご確認ください)

- ◇入院患者さん、外来患者さん向けのサービスのため、患者さん以外の方はご利用いただけません。
- ◇端末の用意や接続に関する設定は、患者さんご自身で行ってください。
- ◇本サービス利用中に発生した事故等の補償は一切いたしかねます。
- ◇本サービスの利用者は、他の方の迷惑とならないよう配慮してご利用ください。

会報誌 RAKUWA が

## 2024年4月号 からリニューアルします！

最新医療情報をはじめ、これまで以上に地域の皆さんの健康と笑顔につながる情報発信を  
してまいります！

お楽しみに！



らくわ

洛和会会報誌 らくわ vol.147

発行／洛和会ヘルスケアシステム

発行日／2024年2月1日 編集／洛和会企画広報部門 編集責任者／小林 拓磨 印刷／佐川印刷株式会社 題字／矢野 満子  
表紙写真／洛和会ヘルスケアシステム 会長 矢野 一郎 理事長 矢野裕典

※本誌の取材は十分な感染対策を行った上で実施し、撮影のため一時的にマスクを外しています。